

# 薬の伝言板 ～ワクチン～

No. 228 2016年11月  
丸子中央病院 薬局

## ワクチンとは

私たちがウイルスや細菌などの病原体に感染すると、感染したものを覚えておく「抗体」を作ります。抗体を持っていると、そのウイルスや細菌にかかりにくくなったり、かかっても症状が軽くなったりします。ワクチンはこの体の仕組みを利用したもので、ウイルスや細菌の病気を起こす力(病原性)を弱めたり、完全に無くしたりしたものを接種することによって、体で抗体を作るための薬剤です。



## 生ワクチン

生きたウイルスや細菌の病原性を十分に弱めたものです。接種するとごく軽く病気にかかったような状態になり、自然にウイルスや細菌にかかったときと同じように抗体を作ります。副反応として、もとの病気にかかった時の軽い症状が出る場合があります。



### 【該当する病気】

結核、麻疹(はしか)、風疹、ロタウイルス、おたふくかぜ、水疱瘡など

## 不活化ワクチン

ウイルスや細菌の病原性をなくして、抗体を作るのに必要な成分だけをワクチンにしたものです。生ワクチンと比較して、病気にかかった状態にはならないので安全に抗体を作ることが出来ますが、1回の接種では十分な抗体を作ることができないものもあり、ワクチンによって決められた回数接種することが必要です。

### 【該当する病気】

B型肝炎、ヒブ感染症、百日せき、ポリオ、日本脳炎、インフルエンザ、  
A型肝炎、狂犬病など

## トキソイド

感染症によって、細菌の出す毒素が抗体を作るのに重要なものがあります。この毒素の毒性をなくし、抗体を作る働きだけにしたものがトキソイドです。

### 【該当する病気】

ジフテリア、破傷風

## 定期接種と任意接種

日本で受けられる予防接種には「定期接種」とそれ以外の「任意接種」があります。定期接種ワクチンは定められた期間であれば公費で接種できます。任意接種ワクチンは一部に公費補助があるものもありますが、多くの場合は有料です。



定期接種	BCG、麻疹・風疹混合、麻疹、風疹、水痘、百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合、ポリオ、ジフテリア・破傷風混合トキソイド、日本脳炎、肺炎球菌（13価結合型）、インフルエンザ菌b型、B型肝炎、ヒトパピローマウイルス：2価・4価、インフルエンザ、肺炎球菌（23価多糖体）
任意接種	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、ロタウイルス：1価・5価、黄熱、破傷風トキソイド、成人用ジフテリアトキソイド、A型肝炎、狂犬病、髄膜炎菌：4価 ※定期接種を対象年齢以外で受ける場合は任意接種になります。

※任意接種の病気だからと言って、病気にかかった時の症状が軽いわけではありません。症状が軽く見られがちなおたふくかぜでも脳炎にかかる場合もあります。ワクチンを接種することで、重症化を防ぐことが出来ますので、積極的な接種をおすすめします。



## 予防接種を受ける時の注意

☆体調の良いときに接種しましょう。慢性の心臓・肝臓・腎臓疾患のある方は医師と相談してください。

☆ワクチンには主成分のほかに卵・抗生物質・添加物が入っています。これらにアレルギーのある方は種類によってアレルギーを起こす可能性がありますので、必ず医師に伝えましょう。

☆接種後30分程度は体調の観察が必要です。まれに急な副反応が起こることがあります。

☆接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位を特に強くこすることはやめましょう。